

令和 6 年度

第 1 6 回芽室町教育委員会会議  
(公開用)

令和 7 年 3 月 1 7 日

芽室町教育委員会

# 会 議 録

令和 7 年 3 月 1 7 日 第 1 6 回 芽室町教育委員会会議を芽室町役場 2 階応接・会議室で開催した。

○開会時間            1 5 時 5 8 分

○閉会時間            1 6 時 3 8 分

○出席委員	教育長職務代理者	鳥 本 和 宏
	委員	松 久 大 樹
	委員	土 井 慎 悟

○欠席委員	委員	福 井 栄 子
-------	----	---------

○出席職員	教育長	程 野            仁
	教育推進課長	坂 口 勝 己
	生涯学習課長	江 崎 健 一
	教育推進課課長補佐	清 末 有 二
	教育推進課教育推進係長	林            宏 明
	教育推進課教育総務係長	金 須 智 秋
	生涯学習課社会教育係長	藤 村            学

- 日程第1 会議録署名委員の指名
- 日程第2 報告第35号 令和6年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査結果の広報誌掲載の件
- 日程第3 議案第57号 芽室町立学校職員任免内申の件（非公開）
- 日程第4 議案第58号 ゲートボール普及活動事業～挑戦の流儀～（R3～R6）の検証及び、ゲートボール普及活動事業第2期～挑戦の流儀～（R7～R12）の件
- 日程第5 報告第59号 令和6年度芽室町一般会計教育費補正予算の議案に対する意見申し出の件（非公開）

◎日程第1「会議録署名委員の指名」

○程野教育長 本日の委員会の出席は4名であり、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第14条第3項に基づき、教育長及び在任委員の過半数が出席していますので、本日の委員会は成立いたしました。

これより、第16回教育委員会会議を開会いたします。

日程第1「会議録署名委員の指名」について、芽室町教育委員会会議規則第16条に基づき、教育長及び会議で決めた委員1名とすることから、本会議の会議録署名委員は鳥本和宏教育長職務代理者とします。

本日の会議は、この後2件の非公開の日程がありますので、議事進行において提案説明の前に非公開の決定をお願いします。

日程第3 議案第57号芽室町立学校職員任免内申の件については、芽室町教育委員会会議規則第12条第2号に規定する、任免、賞罰等職員の身分取扱いその他人事に係る事項に当たりますので非公開としたいと思います。よろしいですか。

（「はい」と発する声あり）

○程野教育長 日程第5 議案第59号令和6年度芽室町一般会計教育費補正予算の議案に対する意見申し出の件については、芽室町教育委員会会議規則第12条第4号に規定する、教育事務に関する議会の議案について町長への意見の申し出に関する事項に当たりますので、非公開にしたいと思います。よろしいですか。

（「はい」と発する声あり）

○程野教育長 以上2件、非公開といたします。

◎日程第2「報告第35号 令和6年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査結果の広報誌掲載の件」

○程野教育長 日程第2「報告第35号 令和6年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査結果の広報誌掲載の件」、説明願います。

教育推進課長。

○坂口教育推進課長 1 ページ、報告第 35 号について御説明いたします。

本年度の「全国体力・運動能力、運動習慣等調査」の結果について、広報誌 3 月号に掲載しましたので、御報告いたします。

2 ページを御覧ください。

まず、調査の概要であります、昨年 4 月から 7 月に小学校 5 年生、中学校 2 年生を対象に、実技に対する調査 8 種目と、生活習慣や運動習慣等に関する質問紙調査を実施しております。

1 番下のグラフは、全国平均値を 50 点として北海道と本町の値をレーダーチャートで表示したもので、ページ下段が小学校、3 ページの上段が中学校です。

初めに、小学校の結果について御説明いたします。

3 ページの下段、調査結果のまとめにありますように、小学校の男子では全種目で、女子は 6 種目で全国を上回っております。

また、中ほどの棒グラフで表しております、質問紙調査の運動・スポーツすることが好きまたはやや好きと回答した割合は、特に女子は全国・全道と比較して高い数値となっております。

次に、中学校の結果であります。中学校男子はハンドボール投げの 1 種目のみ、女子は立ち幅飛びとハンドボール投げの 2 種目で全国を上回っております。また、質問紙調査では保健体育の授業が楽しいとの回答が女子で低い結果となりましたが、やや楽しいを加えた回答結果では、男女ともに全国・全道と同程度でありました。

この結果を受け、今後の対応策 3 点を付しまして、広報誌 3 月号に掲載したところであります。

なお、この調査結果につきましては、例年 2 月の教育委員会議で御報告しているところですが、本年は道教委からの市町村別結果グラフが届くのが例年より遅かったことから、結果分析の記述や次年度の対応策を記載し広報誌掲載様式の体裁にて、2 月 26 日に開催した教育委員会で御報告することが間に合わず、結果として 3 月 12 日発行の広報誌が先行して掲載となりましたことを申し添えまして、以上で報告を終わります。

○程野教育長 これらについて、質疑はございますか。

(「ありません」と発する声あり)

○程野教育長 それでは、本件について異議なしと認め、報告のとおり承認いたします。

◎日程第 3「議案第 57 号 芽室町立学校職員任免内申の件（非公開）」

○程野教育長 日程第 3「議案第 57 号 芽室町立学校職員任免内申の件（非

公開)」、説明願います。

以下、非公開

◎日程第4「議案第58号 ゲートボール普及活動事業～挑戦の流儀～(R3～R6)の検証及び、ゲートボール普及活動事業第2期～挑戦の流儀～(R7～R12)の件」

○程野教育長 日程第4「議案第58号 ゲートボール普及活動事業～挑戦の流儀～(R3～R6)の検証及び、ゲートボール普及活動事業第2期～挑戦の流儀～(R7～R12)の件」、説明願います。

生涯学習課長。

○江崎生涯学習課長 議案第58号について、御説明します。20ページを開きください。

こちらは、令和3年から令和6年度までの期間での事業検証となります。上段が事業検証ということで言及させていただいておりますが、当初の挑戦の流儀や日本ゲートボール連合の再生プロジェクトと期間を合わせて、その期間での取り組みについて研究した内容となっております。実際にその期間は、新型コロナウイルス感染症が猛威を振るったことを契機に、協会員がかなり減っていくような事態となりました。

ただ、その中でも、新たな社会人大会や審判の補助等、少しでも現状維持を達成できるような取組を実施してきたところでございます。また、期間中において発祥の地全国ゲートボール大会においては、ブラジルチームやパラグアイチームが参加、芽室高校の高校日本一、少年団のマチルダの活躍等の明るい話題も多くありました。

基準年度を令和元年度とし、令和6年度に迎えた姿というところで設定をしており、検証を行っているところでございます。

実際には、内容の記載にあるとおり目標年度には(1)の町内競技人口は令和6年度には200人を目指しましたが、実際には113人ということになっております。やはり、競技者の高齢化の中でより会員が減っていくような状況になっております。

以下、設定に向けた目標というところですが、やはりコロナというところで、コロナ以前に戻るようなことがなかなか難しいというふうに、検証させていただいております。

(4)の高校生以下の初心者が体験できる機会ということで、目標年度R6が64回となっており、基準年度の2割増となっておりますが、なかなかそこまでは実施できていないところです。こちらに記載にある平成28年度66回というのは、例えば白樺学園に週何回か教えに行った回数を入れておりますので少し多くなっております。

一番下に、米印で目標年度には学校や職場対抗等の交流が実現していることというのは、最後の挑戦の流儀の注釈にあります。その結果につきましては記載のとおりです。初心者向けの交流大会等が実施されるなど、社会人世代を中心とした取組が強化されました。しかし、学校間での交流試合には至っていないことから、今後も学校間とも協議しながら実施したいということを記載の上、令和 3 年から令和 6 年度までの事業検証としたいと思います。

続いて、21 ページからが新たな令和 7 年度から令和 12 年度までの新たな挑戦の流儀の考え方となっております。

24 ページをお開きください。こちらについては、期間の設定について記載をしております。今回の挑戦の流儀が 6 年間で大変長い期間となっている理由なのですが、前回のものにつきましては日本ゲートボール連合が定めた期間に、対象プロジェクトに合わせた期間に設定をしていましたが、私たちの事業計画の中では上位計画である総合計画や、社会教育推進中期計画との施策とも実施させていこうという今回の考え方から、令和 7 年度から令和 12 年度の 6 年間、実際には令和 9 年度から上位計画が変わるため、令和 9 年前にも一度見直しをしながら、以降第 3 期に向けて、町長の任期や総合計画の任期などを合わせて実施することを考えております。

21 ページに戻っていただきたいと思います。前回の部分と変わったところを簡単に説明していきたいと思います。

2 番のアの(2)の②、審判員の資格新規取得、継続に対する助成ということで、令和 6 年度から実施していますので、こちらを新たに記載させていただきます。

その下、(3)の①、持続可能な活動支援・研究という中では、新たに部活動の地域展開等も出ていますので、そのあたりもやっていきたいと思います。

イのゲートボール競技の普及促進では、前回は小、中、高のその 1 つの部門しかなかったのですが、今回は小、中、高、大学生、現役世代、高齢者世代という各年代に応じた提案を具体的にしていこうというところでございます。

3 番にある大学生の普及等では、最近、北海道教育大学岩見沢校と連携をしておりますので言及させていただきました。

また、(5)としました高齢者世代で、今までそこをわざわざ言っていないかったのですが、やはりそういう人たちも大事にしながら進めていきたいというふうに考えております。

22 ページにお進みください。上段、その他普及事業ということで、こ

れまでなかった、スカイアースやコンサドーレ等の提携団体とも連携していく。

③といたしまして、町のホームページ、SNSの発信等で、先月に町のホームページのゲートボールのコーナーをリニューアルいたしました。

④といたしまして、初心者体験用ゲートボール用品の確保ということで、こちらの記載につきましては、実は健康プラザに置いてあります初心者用に貸し出ししているゲートボール用品が大変古くなっておりますので、各御家庭に眠っているゲートボール用品を、もしよければ寄贈していただきたい。さらには、ゲートボール用品はブラジル等では大変貴重になっていますので、今年の8月にブラジルに町のほうで派遣する際に、もし良いのがあれば、それをお土産代わりではないですけども、そういうことも考えて広報誌等で呼びかけてきたところです。

続きまして、少し飛びまして発祥の地杯全国ゲートボール大会についてです。その中の下段にあります、この大会というのが関係機関等で作り上げてきたこれまでの長い歴史があって、おもてなしの心というところを一番大切にしております。そちらを今回、文字として言及させていただいております。また、大会の参加チーム数は、ブラジルチーム等が来て50チームというところですが、コロナ前は70チームほど来ておりましたので、そこまではいかなくとも増やしていくということを考えていきたいと思っております。

4の関係機関等の連携については、まず(1)として日本ゲートボール連合との連携です。23ページにまいりまして、東京ゲートボール連合です。こちらにつきましては、令和4年8月に包括連携協定を結んでおります。その後、北海道ゲートボール連合等、以下関係機関との連携状況について記載をしております。

(5)につきまして、これまで海外チームに対しての連携はありませんでしたが、昨年来町したブラジルゲートボール連合と連携協定を結んでいる部分もございます。また、今年の発祥の地杯ゲートボールには台湾チームや、香港チームが出場したいという打診を受けていまして、前向きに検討していきたいと思えます。

最後に5番目となりますけれども、目標年度に目指す姿ということで、前回もありましたが、1から4までがこれまでと同じ設定ですが、新たに5番目と6番目を増やしております。やはり、どの設定もそうなのですけども現状維持を続けながら、少しでも増やせるところは増やしていこうという取り組みを実施していきたいというふうに思います。

(5)ゲートボール発祥の地杯で、50チーム以上はいきたいと。昨年ブラジルチームが9チームくらい来て50チームなので、この穴を埋めして

いくのは大変だと思いますが、やはり 50 チームは守っていきたいと思います。(6) は審判員数です。こちらにつきましては、発祥の地杯のゲートボールを実施するのにも、芽室町の審判員の方がいないと大変なものですから、現行のいる人数をなるべく減らさないような取組をしていきたい。そのために、昨年補助を始めたというところもございますし、現在は役場の職員も資格をとっており、またマチルダチームのお母さんたちも審判の資格を取っていただいている状況もありますので、そういうことも普及活動の一環として続けていきたいというところで、今回令和 7 年度からの取り組みということで、御承認いただければと思います。

説明は以上です。

○程野教育長 質疑はございますか。

松久委員。

○松久委員 中身に関しては少しずれて申し訳ないですけども、こういう機会なので言わせていただきたいと思います。

多分、ルールというよりは、何が面白いのかというのが伝わりづらいスポーツのような気がしていて、うちの娘が最近カーリングに非常に興味を持っていて、カーリングを横から見てると最初は何だかよくわからないのですが、真上から撮影して、ストーンが置かれて詳細な解説があるのです。こういうことをゲートボールでもできないのかなと思っていて、コートの上からカメラを置くとボールの位置が分かりやすいです。多分、この球をここに打ったらこうしたいよねという、作戦みたいなものが見えると、見ていて楽しめるスポーツになる気がしていて、そういうのは今ほとんどないと思うのです。

私もこの間教育委員でもやらせていただいたのですが、例えば指示していただいて、この辺狙ったらいいですよと言われて狙って打ってうまくいけば、その瞬間は嬉しいのですが、果たしてこれはどういう意図があってここを狙ったのだろうかというのは、実は分からないままやっていたというのがあります。

カーリングのように解説してみたら、また別の見方が出てくるのではないかと最近思う事がありました。こんな会議の中で話してよいのか分かりませんが、こういう機会なので言わせていただきました。

○程野教育長 生涯学習課長。

○江崎生涯学習課長 日本ゲートボール連合の各種大会においては、実は YouTube の発信があります。それを解説等はしているのですが、確かに上から見ないと分からない部分がありますので、それについては私たちもなるほどと思うところがあります。なかなか直ぐにつけるということにはならないですが、日本ゲートボール連合にそのような意見が



あったとお伝えします。確かにおっしゃるようになりやすいところも  
ありますので、御意見として参考にさせていただきます。

○程野教育長 他に質疑はございますか。よろしいですか。

(「ありません」と発する声あり)

それでは、本件については、原案のとおり可決いたします。

◎日程第5「議案第59号 令和6年度芽室町一般会計教育費補正予算の議案に  
対する意見申し出の件（非公開）」

○程野教育長 日程第5「議案第59号 令和6年度芽室町一般会計教育費補  
正予算の議案に対する意見申し出の件（非公開）」について説明願います。

以下、非公開

○程野教育長 以上をもちまして、第16回教育委員会会議を終了いたします。

会議録署名 教育長 程 野 仁

会議録署名 教育長職務代理者 鳥 本 和 宏